

電気通信大学 平成20年度シラバス

授業科目名	社会情報システム論2		
英文授業科目名	Social Informatics 2		
開講年度	2008年度	開講年次	
開講学期	後学期	開講コース・課程	博士前期・後期課程
授業の方法	講義	単位数	2
科目区分	情報システム学研究科-社会知能情報学専攻-専門科目		
開講学科・専攻	社会知能情報学専攻		
担当教官名	山本 佳世子		
居室	P-513		

公開E-Mail	授業関連Webページ
k-yamamoto@is.uec.ac.jp	

【講義の狙い, 目標】

本講義では、社会と人間を結ぶ情報システム学という視点に立脚し、多様な情報システムに言及する社会情報システム論、社会における情報提供・共有化による意思決定論、情報システムを利用した市民参加を意識した公共選択論について、講義を行う。

現代社会では、様々な情報システムが続々と開発され、私たちの日常生活は情報システムの進展により大きな変化が生じている。特に情報システムのうちでも、GIS（地理情報システム）は研究面だけではなく、行政、企業が提供するサービス、市民による社会活動など、様々な場面で利用されるようになった。そしてGISでは、一方的に情報提供を行うだけではなく、デジタル地図を利用した双方向性の情報交流や多様な主体間の情報共有を行うことができる。

これらの背景には、他の情報システムとは大きく異なり、デジタル地図上に多様な情報を掲示し、情報提供・共有化を行うことができるというGISの大きな特徴がある。またインターネットなどのITと結びつくことにより、広く社会に情報提供を行い、意思決定支援を行うことができるようになった。さらにGIS以外にも多様な情報システムが社会で積極的に利用されることにより、より良い地域づくり、環境づくりを行うために市民参加を促進することができる可能性がある。

このような状況を踏まえて、本講義では、多様な社会情報システムについて理解したうえで、現代の高度情報化時代における情報システムを利用した意思決定、今後の市民社会における情報システムを利用した公共選択について理解を深める。また本講義では、国内外における具体的な社会情報システムの利用事例をできるだけ多く取り上げ、実証的な説明を行う。

【内容】

社会情報システム論 多様な情報システムの特徴や相互関連性について理解するため、特に代表的なものを取り上げて、これまでの発展の歴史や社会における利用状況について理解する。

意思決定論 現代社会における多様な情報システムを利用した意思決定システムの具体的な事例を取り上げ、意思決定における情報提供、共有化の意義について論ずる。

公共選択論 市民を中心とした様々な主体による地域協働型活動の具体的な事例を取り上げ、これらの主体による公共選択において情報システムが果たす役割について論ずる。

電気通信大学 平成20年度シラバス

【教科書，参考書】

特に指定しないが、履修者に一読して欲しい書籍および学術論文は毎回の講義で紹介する。

【予備知識】

【演習】

GIS（地理情報システム）を利用した主題図作成を行い、成果発表会を行う。

【成績評価方法及び評価基準】

講義への出席状況、2回のレポート課題の成果により、成績評価を行う。

【その他】

講義内容に関する質問やコメントを歓迎する。